



(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

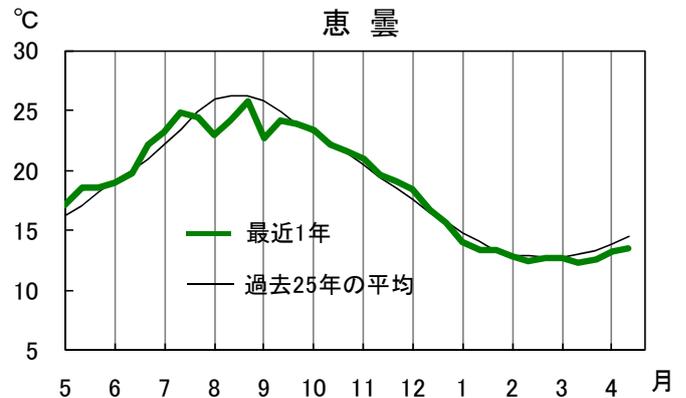
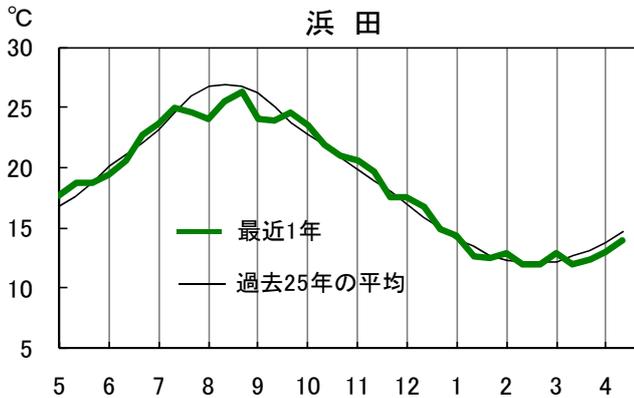
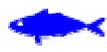
<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

## 《3-4月の海況》

3月	月平均	平年差	評価
浜田	12.4℃	-0.2℃	平年並み
恵曇	12.5℃	-0.5℃	やや低め

沿岸定地水温は、3月上旬は浜田地区は「やや高め」、恵曇地区は「平年並み」でした。3月中旬以降は、両地区とも「やや低め～かなり低め」と平年より低めの傾向で推移しています。


 《3月の漁況》

## 【中型まき網漁業】

浜田地区では、カタクチイワシ主体の漁況で、総漁獲量は平年並みでした。カタクチイワシの漁獲量は平年の2倍と好調でした。西郷地区及び浦郷地区では、カタクチイワシ、マアジ、マイワシ主体の漁況でした。時化の影響で出漁日数が減った事に加え、カタクチイワシの漁獲量は平年の2～4割と低調であったため、総漁獲量はそれぞれ平年の3割及び5割と低調でした。今後はマアジ主体の漁況に移りますが、海況で説明したように海水温は低め傾向に推移しています。この水温の傾向は、マアジ魚の本格化が5月中旬にずれ込んだ平成18年と似ていることから、今年のマアジの来遊時期も遅れると思われる。

## 【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではスルメイカ主体の漁況で、総漁獲量は平年の1割と低調でした。一方、西郷地区（属人5トン以上）では平成20年以降、3年続けて水揚げはありませんでした。平成20年以降、両地区とも3月期の水揚げは低調な状態が続いています。

## 【沖合底びき網漁業】

浜田港ではマフグ、ソウハチ、ムシガレイ主体の漁獲でした。1統1航海当たり漁獲量は11.8トンで、前年を下回りましたが、平年並みとなりました。ソウハチ、ムシガレイは好調に推移し、平年の1.4倍の漁獲がありました。またアカムツは、月後半に小型サイズ（メッキン）がまとまり、平年の3倍の漁獲がありました。一方、キダイ、ケンサキイカは低調に推移し、ケンサキイカは平年の15%の水揚げに留まりました。

## 【小型底びき網漁業】

久手地区ではソウハチ・ニギス、和江地区ではソウハチ・ヒレグロ主体の漁獲でした。1隻1航海当たりの漁獲量は、和江地区は平年並みでしたが、久手地区は平年を15%下回りました。カレイ類は好調に推移し、ソウハチ、ヒレグロ、アカガレイは平年を上回る漁獲となりました。また、沖底同様にアカムツが好調で、平年の2.3～2.5倍の漁獲となりました。

## 【定置網漁業】

石見地区の漁獲量は、一統当りではブリが前年の2.3倍と好調でしたがマアジが前年の5%と低調であったため、全統の総漁獲量は前年の3割でした。出雲地区の1統当りは、ブリが平年の2.8倍と好調でしたがスルメイカが平年の2割と低調であったため、全統の総漁獲量は平年の7割でした。隠岐地区の1統当りは、マアジが平年の1.6倍と好調でしたがスルメイカが平年の1割と低調で、全統の総漁獲量は平年の3割でした。

## 【釣・縄】

石見地区ではブリ、メダイが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は41kgで平年を上回りました。出雲地区ではブリが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は73kgで平年を上回りました。隠岐地区ではブリ、メダイが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は43kgで平年並みでした。どの地区でもブリが平年を上回って漁獲されたことが特徴的でした。

【平成 22 年 3 月の漁獲統計】

漁業種類	水揚港	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1 隻(統)1 航海あたり漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
まき網 (中型・大 中型)	浜田	カタクチイワシ	456 トン	290%	104%	30.4 トン	309%	132%	○
	西郷	カタクチイワシ、マイワシ、マアジ	1,330 トン	30%	31%	39.1 トン	56%	60%	▲
	浦郷	カタクチイワシ、マアジ、マイワシ	1,241 トン	32%	44%	38.8 トン	59%	76%	○
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	15 トン	137%	12%	405 kg	130%	96%	○
	西郷	-	-	-	-	-	-	-	-
沖合 底びき網	浜田	マフグ、ソウハチ、ムシガレイ	306 トン	78%	79%	11.8 トン	78%	95%	○
小型 底びき網	久手	ソウハチ、ニギス	124 トン	71%	75%	537kg	77%	86%	▲
	和江	ソウハチ、ヒレグロ	260 トン	90%	102%	697kg	77%	98%	○
定置網 (大型)	浜田	-	-	-	-	-	-	-	-
	美保関	スルメイカ、サバ類	34 トン	57%	77%	376kg	59%	77%	○
	浦郷	マアジ、スルメイカ	6 トン	159%	37%	285kg	203%	43%	▲
釣り・縄	仁摩	ブリ、メダイ	23 トン	201%	157%	72 kg	225%	188%	◎
	大社	ブリ	47 トン	156%	85%	97 kg	187%	146%	◎
	西郷	メダイ	2 トン	50%	37%	28 kg	145%	62%	○

平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下